

人と技術と感動通信  
シーキューブ株式会社

証券コード 1936

# Business Report 2018

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

# Top Interview

## 中期経営計画「SGK2020」STAGEⅡを推進し、「事業構造の変革」を加速させ持続的成長のステージへチャレンジしてまいります。



代表取締役社長  
橋本 渉

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。  
さて、当社は平成30年3月31日をもって、第65期(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)を終了いたしましたので、ここに当期の当社および当社グループの事業概況について、ご報告申し上げます。

**Q** 当社グループの事業を取り巻く状況について、お話しください。



**A** **情報通信事業分野では、光アクセスサービスが幅広い産業と融合し、移動通信事業分野では、5Gに向けた投資拡大が予想され、情報サービス事業においては、AIやITによる新しいビジネスモデルの創出が本格化しております。**

当社グループの主要な事業分野であります情報通信事業分野の内、ブロードバンドサービス市場では、光アクセスサービスの契約数が平成29年12月末に前年同月と比べ113万件

増の3,007万件と微増で推移しております。光アクセスサービスは、光コラボレーションを通じて幅広い産業と融合し、業界の垣根を越えた新たな価値を創造するプラットフォームとなっております。

移動通信事業分野では、新たな携帯キャリア事業者の参入による競争環境の変化や電波割当制度の見直しに注目が集まる一方、超高速・大容量の通信システムである5Gの導入に向けたネットワーク環境整備への投資拡大が予想されております。

情報サービス事業においては、AI(人工知能)やITの進化を原動力に、様々な分野で付加価値の高いサービスの提供、新しいビジネスモデルの創出が本格化しております。農業や建設現場などでは熟練技術者の経験に依存していた作業がセンサーや映像解析技術の向上により自動化され、労働環境改善や生産性向上に寄与するなど、今後ビッグデータの分析を基にしたイノベーションのさらなる進展が期待されております。

**Q** 当連結会計年度(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)における取り組みについて、お話しください。

**A** 中期経営計画「SGK2020」STAGEIの2年目として、既存事業の拡大とともに新たな事業領域へ積極的に挑戦してまいりました。

当社グループにおきましては、中期経営計画「SGK2020」STAGEIの2年目として、事業構造の変革への取り組みを加速させSTAGEIIへの飛躍につなげていく年度と位置付け、既存事業の拡大や生産性の向上とともに、新たな事業領域へ積極的に挑戦してまいりました。具体的には、社会インフラ分野での公共工事の入札競争が一層激化する中、自治体からの引き合いが強いアンダーパス冠水対策工事などの受注拡大を図り、一般設備工事の売上確保に努めてまいりました。さらに、情報サービス事業では、IoTを活用した鳥獣被害対策ソリューションの実証実験に参画するなど新規事業開拓への取り組みに加えて、教育現場におけるひとり1台タブレット時代を先取りした教育ICTセミナーを開催するなど実績のある文教分野の深耕にも注力してまいりました。

アクセス工事においては、光コラボレーションや保守工事の増加により堅調に推移する業務を着実に遂行すると同時に、移動通信のトラフィック増大に伴う設備増強や通信エリア拡大に対応するため、コスト効率化施策の推進と複合技術者の計画的育成による戦力底上げなど、さらなる生産性の向上に取り組んでまいりました。

また、働き方改革においては、グループ一体となり働きやすい職場づくりを進めてきた結果、名古屋市より子育て支援企業および女性の活躍推進企業の認定を受けました。

**Q** 今後、どのような取り組みをお考えですか？

**A** 今年度よりスタートする新たなステージで事業構造の変革の推進による持続的な成長を目指してまいります。

当社グループは、中期経営計画「SGK2020」のSTAGEIIがスタートする平成30年度を、積極的なチャレンジとイノベーションにより売上高600億円をベースラインとする礎を築く年度と位置付け、新たなステージで事業構造の変革の推進による持続的な成長を目指してまいります。

具体的には、次世代に向けた新たな収益の柱の創出の一環として参入したアグリ事業において、最新のICTと栽培技術を組み合わせた次世代農場の実現に向け積極的に挑戦してまいります。情報サービス事業分野では、自治体向けに提案している漏水監視クラウドサービスの展開など新たなソリューションの創造に注力してまいります。また、アクセス工事においては、既存設備の更改を中心とした設備健全化工事と保守業務の拡大に積極的に対応していくとともに、移動通信設備工事におけるIoT時代の到来に伴う次世代通信環境の構築に備え、迅速かつ柔軟な社内協力・支援体制を継続発展させ基盤事業の強化を図ってまいります。

しかしながら、当社を取り巻く事業環境は劇的かつ急速な変化を続けており、今後の変化に柔軟に対応し、当社の強みを活かしていくためには、より生産性が高く多様な顧客ニーズに対応可能な営業および施工体制の構築と一般設備工事、情報サービス事業を更に飛躍的に発展させる体制への変革が急務となってまいりました。

このような状況のもと、従来から西日本地域におけるNTTグループ発注の通信設備工事で共同企業体の構成員として連携している株式会社協和エグシオと業界環境や両社のあり方について真摯に協議を重ね、その結果、経営統合を選択することが両社の企業価値を最大化する最良の方法であるとの判断に至り、株式交換契約を締結いたしました。

経営統合を契機に両社の強みを最大限に活かすため、それぞれのブランドが培ってきた技術力・営業力の強みを活かした運営を行い、お互いが得意とする領域を共有することにより、更なるビジネスの拡大を図り、社会に貢献しお客様に選ばれる企業へ成長することにより、企業価値の更なる向上を図ってまいります。

#### ■ 連結

売上高	598億32百万円	(前期比	7.6%増)
営業利益	31億31百万円	(前期比	72.7%増)
経常利益	34億83百万円	(前期比	70.6%増)
親会社株主に帰属する当期純利益	22億12百万円	(前期比	80.3%増)

# Top Interview

Q 最後に、株主の皆様へ一言お願いします。



A 引き続き積極的な事業展開に挑戦し、総力を挙げて『すごい会社』創りに邁進してまいります。

当社グループは総力を挙げて、今後も『すごい会社』創りを目指し、引き続き積極的な事業運営を図ってまいりますので、株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

また、株主の皆様への利益還元を経営の重要政策と位置付け、基本方針である安定的配当の継続実施に基づき、当事業年度の期末配当金につきましては、当社普通株式1株につき普通配当金8円に特別配当金2円を加えて10円といたしました。

なお、平成31年3月期の配当金は、中間配当金8円(普通配当6円、創立65周年記念配当2円)を予定しております。

## ■ 配当推移

(円)

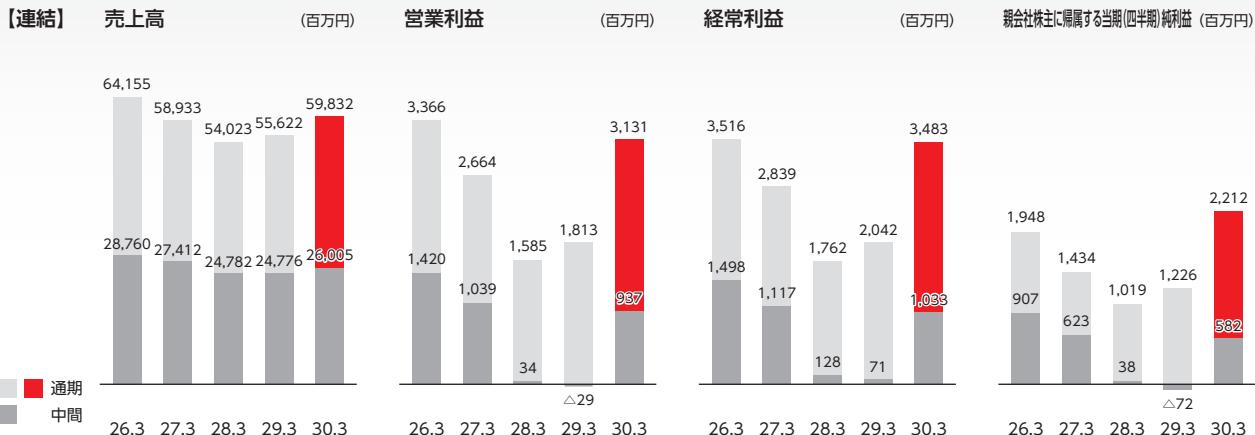


## ■ 1株当たり当期(四半期)純利益

(円)



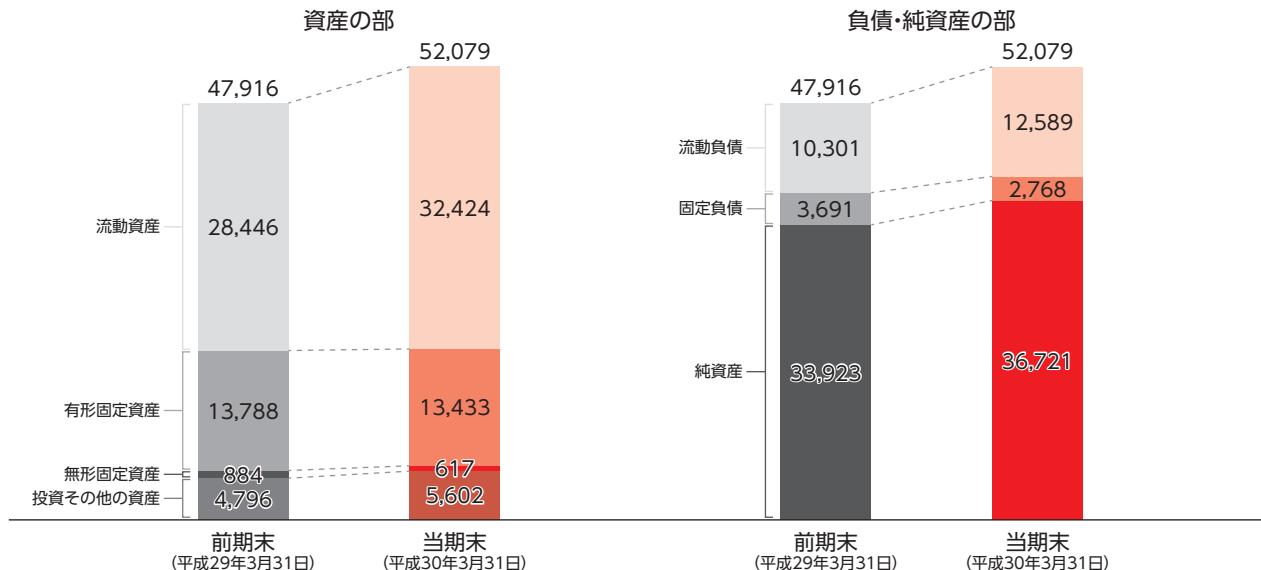
## ■ 業績推移



# 連結財務諸表(要旨)

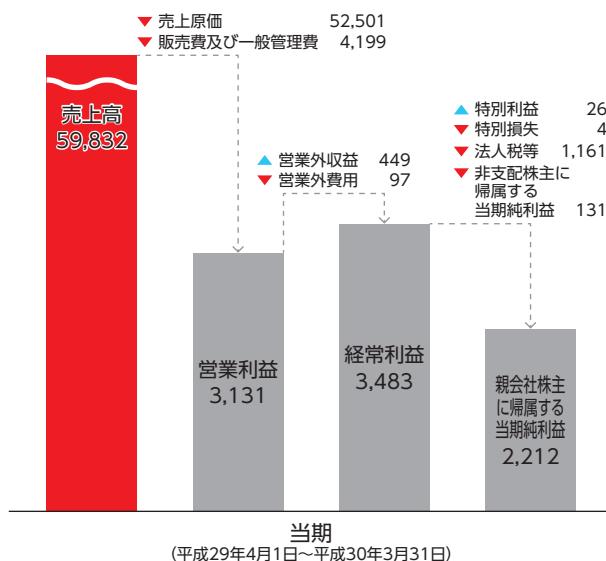
## ■ 連結貸借対照表の概要

(百万円)



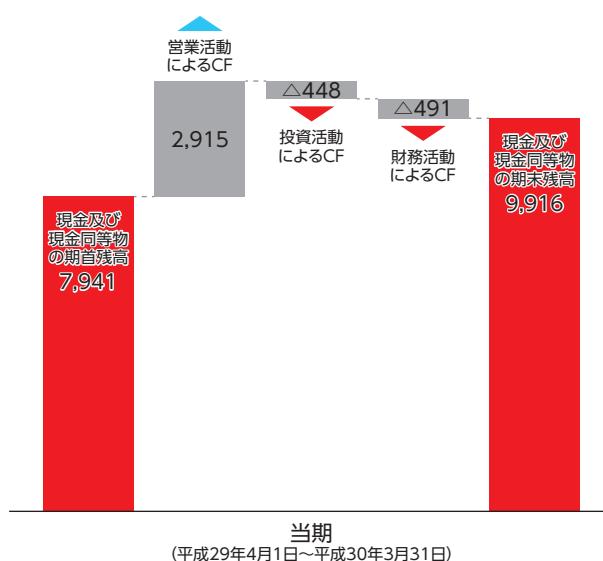
## ■ 連結損益計算書の概要

(百万円)



## ■ 連結キャッシュ・フロー計算書の概要

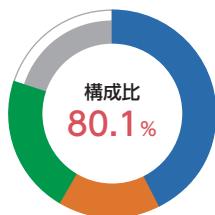
(百万円)



# Business Review

## 通信建設事業

売上高  
前期比 **479億3百万円**  
**10.4%増**



内 訳



### NTT通信設備工事

#### 売上高推移



売上高 **255億62百万円**

NTT西日本向けに通信ケーブル設備、宅内装置、IPネットワークシステムなどの工事の設計・施工・保守を手がけております。

前期比 **8.1%増**



### 移動通信設備工事

#### 売上高推移



売上高 **94億79百万円**

携帯電話事業者からの移動通信設備工事として携帯電話基地局・Wi-Fi基地局設備、LTE・WiMAXなどのモバイル設備の設計・施工・保守を手がけております。

前期比 **21.1%増**



### 一般設備工事

#### 売上高推移



売上高 **128億61百万円**

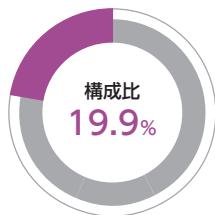
官公庁や企業向けに、通信設備、道路系インフラ設備、新エネルギー関連設備などの工事の施工を手がけております。

前期比 **7.8%増**



## 情報サービス事業

売上高  
前期比 **119億29百万円**  
**2.3%減**



#### 売上高推移



ネットワークシステムおよびサーバー・パソコンを主体としたシステムの提案・販売・構築・保守、ソフトウェアの開発・販売、公共サービス事業の受託業務等をシーキューブ株式会社、子会社の株式会社フューチャーインで行っております。



# Company Data

平成30年3月31日現在

## ■ 会社概要

商号	シーキューブ株式会社
設立	昭和29年5月14日
資本金	41億4百万円
従業員数(連結)	1,916名

### 主要な営業所

本社	名古屋市中区門前町1番51号
ICT事業グループ	名古屋市区
東日本事業本部	東京都大田区
西日本事業部	大阪府中央区
NTT事業グループ	名古屋市中区
愛知支店	愛知県春日井市
岐阜支店	岐阜県加茂郡坂祝町
三重支店	三重県三重郡川越町
静岡支店	静岡県駿東郡清水町
メディアネットワーク事業グループ	名古屋市中村区
株式会社フューチャーイン	名古屋市中千種区
株式会社シーキューブ愛知	愛知県春日井市

## ■ 取締役および監査役

代表取締役社長	橋本 涉
常務取締役	保村 英幸
取締役	佐藤 隆彦
取締役	井上 利之
取締役	山内 重幸
取締役	伊藤 利英
取締役	芦沢 秀明
取締役	石田 浩之
取締役	伊藤 金一
取締役	篠田 邦彦
取締役	大村 春樹
社外取締役	山崎 正美
常勤監査役	服部 三郎
社外監査役	西垣 誠
社外監査役	池辺 裕昭
社外監査役	田邊 仁一

## ■ 株式の状況

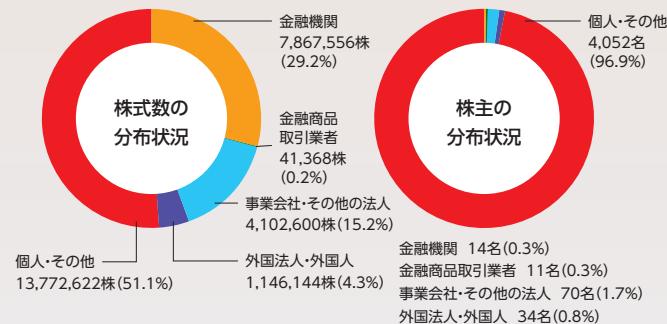
発行可能株式総数	55,041,300株
発行済株式の総数	26,930,290株
	(注)自己株式 714,409株を除く
期末株主数	4,182名(前期末比140名増)

## ■ 大株主(上位10名)

株主名 (敬称略)	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
シーキューブグループ従業員持株会	1,629	6.05
第一生命保険株式会社	1,384	5.14
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,249	4.64
株式会社りそな銀行	1,232	4.58
三菱UFJ信託銀行株式会社	951	3.53
東京海上日動火災保険株式会社	866	3.22
シーキューブ共栄会	695	2.58
住友生命保険相互会社	646	2.40
加藤 力蔵	625	2.32
株式会社大垣共立銀行	500	1.86

- (注)1.当社は、平成30年3月31日現在自己株式714千株を保有しておりますが、上記大株主から除外しております。  
2.持株比率は、自己株式を控除して計算しております。  
3.株式会社三菱東京UFJ銀行は、平成30年4月1日付で株式会社三菱UFJ銀行に商号変更しております。

## ■ 株式数・株主の分布状況



# CSR ステークホルダー※1とのコミュニケーション

## CSRの基本的な考え方

当社はCSRへの取り組みを重要な経営課題と認識し、シーキューブグループ倫理綱領を基本方針として

「品質の高い工事と優れた商品の提供」

「企業価値の向上」

「地域社会との連帯と協調」

などを掲げ、積極的な推進を図っております。

推進部門としてCSR推進部を軸に

「内部統制システムやISOマネジメントシステムの充実」

「環境問題に対する積極的な施策展開」

「社員へのコンプライアンス教育の一層の強化」

を図るなど、様々な活動を展開しております。

## ■ ポイント解説

- ※1 **ステークホルダー** …株主様、お客様、従業員、取引先、地域社会といった企業を取り巻く利害関係者のこと。
- ※2 **IR** …Investor Relations(投資家向け広報)の略で、企業が株主様や投資家に対し、財務状況など投資の判断に必要な情報を提供していく広報活動のこと。
- ※3 **サービステクノロジー活動** …お客様の目線に立ち気持ちは感じ取りながら行動できる技量をサービステクノロジーと呼び、その発揮によりCS向上を図るとともに模範的行動を表彰する活動のこと。
- ※4 **タイガーマスク運動** …アニメ「タイガーマスク」の主人公が児童施設の子供にランドセルなどをプレゼントした行為を参考にした、年間を通じた募金活動のこと。

## ■ 対話を通じた信頼向上

当社では株主様や社会に対して、企業情報を積極的かつ公平に開示し、コミュニケーションを行い、企業価値の向上を図っております。当社に対する信頼向上と適正な評価を得ることを目的として、オープンでわかりやすいIR※2活動を目指しております。



名証IRセミナーin大阪

株主様



サービステクノロジーリーダーの認定

お客様

## ■ お客様の立場に立った活動

当社グループではお客様に喜んでいただけるサービスの提供を目指し、サービステクノロジー活動※3やCSマナー向上研修等によりCSの向上に積極的に取り組み、サービスの向上に努めております。



C・CUBE

シーキューブ株式会社

## 地域社会

### ■ 社会貢献

当社グループではタイガーマスク運動\*4、「IPPO IPPO NIPPON プロジェクト(熊本支援活動)」への継続的参画、非常食用品の寄付、事務所近隣の清掃活動、エコキャップや使用済切手の回収など様々な社会貢献活動に継続して取り組んでおります。また、平成25年9月には、当社本社ビルを大規模地震災害等の避難場所として地域へ提供することいたしました。



タイガーマスク運動  
(歳末助合募金を中日新聞社会事業団へ寄付)



地域清掃活動

### ■ 省エネ・CO<sub>2</sub>削減

当社では、建物の省エネ化・照明のLED化、エコドライブ等の取り組みを継続しております。

## 取引先

### ■ 強力なパートナーシップ

当社では調達先・協力会社とは、取引先として強いパートナーシップを築いております。当社にとって品質の高い工事を遂行するためには取引先から資材や安全性の高い役務を、安定的に提供を受けることが不可欠であると考えております。

## 従業員

### ■ 社員一人ひとりの人格と個性の尊重

当社グループでは提案をベースとした「業務改善活動」を実施しております。その活動から生まれた施策や商品はグループ内で展開されると同時に各種展示会に出展され、お客様に高い評価をいただいております。

また人材育成システムの運用により

- ・「長期的」「体系的」「計画的」で
- ・「個性を重視した」
- ・「企業ニーズと個人ニーズを満たす」

人材育成を図っております。



チャレンジ成果発表会



新入社員研修

# Topics 2017年度の出来事

4月3日

- 平成29年度入社式



4月26日

- 非常食用品をフードバンクに寄付

5月20日

- アクセスグループ  
第18回技術競技大会開催



- 平成29年度  
「シーキューブの森」活動開始

8月25日

- 第52回チャレンジ成果発表会



9月

9月13、14日

- 西日本ICTフォーラム  
2017に出展

8月

7月21、22日

- 名証IRエキスポ2017に出展

7月26日

- 教育ICTセミナー2017開催

7月28日

- 第12回光通信工事技能競技会出場



7月

6月

6月1日

- 創立63周年記念式典

6月9日

- 名証IRセミナーin名古屋

6月28日

- 第64回定時株主総会

5月

4月

2017年

11月16日

- 第8回アクセスデザインコンテスト出場



11月21、22日

- ハイウェイテクノフェア2017に出展

11月

10月

10月2日

- 静岡県富士市に  
宅内保守センター開設

10月18日

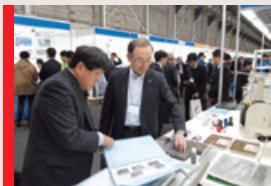
- 非常食用品をフードバンクに寄付

10月18、19日

- 建設技術フェア2017in中部に出展

10月19、20日

- つくばフォーラム2017に出展



2月13~23日

- One Dayインターシッパ開催

2018年

2月

3月

1月

1月5日

- 会社幹部  
熱田神宮参拝

1月29日

- 名古屋市子育て支援企業、  
女性の活躍推進企業認定



3月2日

- アグリビジネス参入発表

3月20日

- ITEA女性技術者座談会に参加

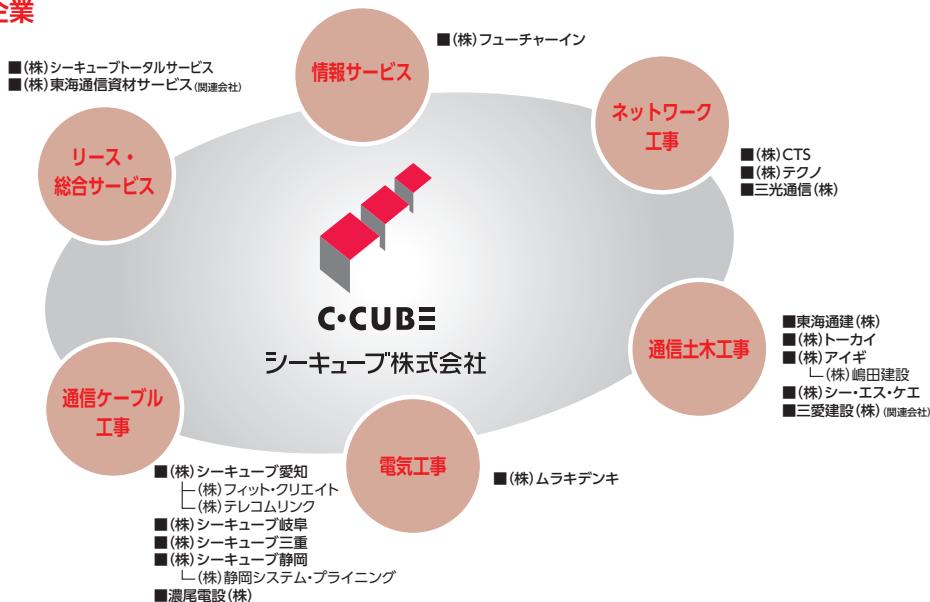
3月31日

- 「すごい会社」目標達成!  
シーキューブグループは『すごい会社』創りを目指し、積極的な事業展開に取り組んできた結果、自社で定めた指標で評価レベル5「すごい」を2017年度初めて達成しました。

※「すごい会社」とは、全てのステークホルダー（株主様、お客様、従業員、取引先、地域社会）それぞれから「すごい」と言われるようにシーキューブグループが目指す会社像のこと。



## ■ グループ企業



## ■ 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬開催
剰余金配当基準日	期末配当 3月31日 中間配当 9月30日(中間配当を行う場合)
単元株式数	100株
公告方法	電子公告の方法により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 【公告掲載の当社ホームページアドレス】 <a href="http://www.c-cube-g.co.jp/">http://www.c-cube-g.co.jp/</a> ※決算公告に代えて、連結貸借対照表、連結損益計算書はEDINET(金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム)にて開示しております。このほか、上記の当社ホームページにおいても開示しております。
上場証券取引所	名古屋証券取引所市場第一部
株主名簿管理人および特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	電話 0120-782-031(フリーダイヤル)

## ご注意

- 株主様の住所変更、買取・買増請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三井住友信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三井住友信託銀行が口座管理機関となっておりますので、特別口座の口座管理機関(三井住友信託銀行)にお問合せください。
- 未受領の配当金につきましては、三井住友信託銀行全国本支店(コンサルティングオフィス・コンサルプラザを除く)でお支払いいたします。



## シーキューブ株式会社

〒460-0018 名古屋市中区門前町1番51号

☎052-332-8000

URL: <http://www.c-cube-g.co.jp/>



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。